

令和6年度 第2回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

— 議 題 —

1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について … 資料1

- (1) 災害プロジェクト委員会について
- (2) 人材プロジェクト委員会について

2 施設長会情報交換テーマについて … 資料2

3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 …資料3

- (1) 総会（6/27）について
- (2) 第22回かながわ高齢者福祉研究大会について

4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 …資料4

- (1) 第2回代表者会（5/21）について
- (2) 第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について

5 施設部会より … 資料5

- (1) ふくしの出張講座について
- (2) 食糧支援かわさきについて
- (3) 第1回研修会（9/11）及び第2回研修会（9/26）について

6 その他

- ・川崎市総合研修センター … 資料6

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会・防災班長会議

◇第2回災害プロジェクト委員会・防災班長会議／7月1日（月）14時～15時20分

≪協議概要≫

① 令和6年度川崎市総合防災訓練における二次避難所立上げ訓練及び情報伝達・物資移送訓練について

【実施概要】

日 時：令和6年9月1日（日）9時～12時

訓練会場：麻生水处理センター（警察・消防・自衛隊等による救出救助訓練）

市立柿生小学校（二次避難所移送訓練）

協力施設：金井原苑

訓練想定：川崎市直下を震源とするマグニチュード7.3の地震（最大震度7）

訓練概要：二次避難所を立上げ、受入れ可能な連絡をE-Welfissで実施

→災害対策本部で調整後、E-Welfissで施設へ受入れ依頼の連絡

→学校から民間救急を活用して二次避難所となる施設へ配慮が必要な方を市職員の付き添いにより移送

→施設で移送された方の受入れを実施

⇒二次避難所立上げ訓練当日に同時実施する予定の物資移送・情報伝達訓練の実施計画について麻生班の佐藤委員より説明。

6月21日に金井原苑にて吉野施設長と打合せ。昨年度の生田まほろばでの実施概要や反省点、当日の写真等を示しながら説明。麻生班としては昨年同様、情報伝達訓練と合わせて物資移送訓練を実施する予定。7月中に区内で参集を募る予定。ビブスを着たり腕章をつけたりする等して誰が担当者なのか分かりやすくすること、情報伝達訓練ではパソコン画面が見えるようにプロジェクター等で映し出した方がよいこと等を共有した。昨年は段ボールベッドの組立てを二次避難所立上げ訓練の中に組み込んでいたが、発災の数日後を想定した訓練になるので、別のベッドを用意したり段ボールベッドを事前に作っておいたり、パーティションでプライバシースペースをしっかりと確保したり、トイレ等の指示書きを作っておいたりする等して、二次避難所に来られた方にしっかりと対応できるような状況にしておくことを重点目標として取り組むことになっている。

⇒当日委員たちが車で行って良いかどうかは危機管理室の土谷課長に確認してもらう。

② 施設間連携強化の取り組みについて

目 的：川崎市内及び近隣他都市との実効性のある施設間連携・情報共有をより一層推進するため、他都市との情報交換を実施する。

情報交換先：横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会災害プロジェクト委員会

大テーマ：『 災害対応について 』

- ・ 横浜市内、川崎市内それぞれの施設間連携の状況（区内施設で連携して防災訓練を実施しているか等）や物資提供に関する約束事について情報共有
- ・ 情報伝達システムの課題や現状について
- ・ 指揮系統の課題について

実 施 日：令和6年9月18日（水）15時～（1時間～1時間半程度）

会 場：横浜市健康福祉総合センター8階 会議室（横浜市中区桜木町1-1）

⇒当日、互いの状況について報告し合って終わりだと情報交換会としては少しもったいないので、実のある会にするために当日の流れについて協議。

→互いの状況を知らないなので、今現在のそれぞれの取り組みについて報告する時間は必要。

→全体で20人くらいになると話の舵を取るのが難しくなる。横浜市は3つのブロックに分かれているようなので、川崎も単純に南・中・北の3グループに分かれて、各グループ6、7人くらいで情報交換した方が効果的。

→今回はあくまで1回目の情報交換会。都市を跨いでの連携強化には継続が必要。軸となる施設の繋がりができれば連携も取りやすくなる。定期的に開催できる取り組みにしていきたい。

プログラム（案）：

- 横浜市・川崎市の現在の防災に関する取り組みについて報告
- 南部（川崎・幸）、中部（中原・高津・宮前）、北部（多摩・麻生）に分かれて横浜市の3つのブロックと情報交換
- 情報交換の内容の共有

③ 災害対応に関する研修会について

内 容：策定されたBCPをもとにどのように研修・訓練を実施すればよいか、また研修・訓練を通して得られた振り返りをもとに、BCPをブラッシュアップしていくための注意点

等について学びを得る。

加えて、近隣他施設がどのような BCP を策定しているか情報を共有し、互いに良い部分を取り入れ合う。

講 師：MS&AD インターリスク総研株式会社

形 式：講義及び演習（対面形式のみ）

実施日：10月29日（火）14時～16時30分

会 場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）7階 大会議室

③ 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会災害対応部会について

○災害対応に関する部会

開 催 日：令和5年12月19日・令和6年2月26日・令和6年5月17日

協議事項：本部会の進め方、リーダーの選任について、災害対応に関する課題について、
各ブロックの取組状況について、研修会について

○BCPに関する研修〈令和6年6月27日（木） 県老協総会時研修〉

「高齢者施設における自然災害への対策－事業継続計画（BCP）の運用を考える－」

【講 師】

株式会社 CoAct 代表取締役 渡嘉敷 唯之 氏

社会福祉法人同愛会 理事長 菊地 月香 氏

【内 容】14時45分～17時

基調講演：全国的な動向や BCP の策定と運用

事例発表：発災時の BCP の活用実態、発災後に見えた BCP の課題

④ 各班の訓練の取り組み状況について

川崎：3回目の情報伝達・物資移送訓練を4月11日に行った。訓練後、振り返りのミーティングを実施。全体的に E-Welfiss の扱いには慣れてきている。E-Welfiss でスレッドを立ち上げて、物資のやり取りについて情報交換をしたのだが、自施設の被害報告をしっかり入力しないと、国や行政との連携が難しくなるため、次回は被害報告を入力して地図にどのように反映されていくのかを確認しようということになった。また、実際に発災した際に、道路状況についての情報は有益なものなので、地図の中にそうした情報があげられると良いという意見も出ていた。さらに、訓練に参加するメンバーが大体固定化されているので、E-Welfiss を使う練習の頻度をもう少し増やして、人を変えたり、新任職員に参加してもらったりして、有事の際になるべく困らないように訓練することも必要だという

意見もあった。例えば、毎月15日に防災無線の受信機に異常がないかの確認を、1, 2会のやり取りで十分なので、そうした機会があると良いとの意見も出された。

次回は7月9日に情報伝達・物資移送訓練を、川崎ラシクルを会場として実施する予定。

幸：今年度第1回目の幸班会議を7月23日10時から開催する。その時に夢見ヶ崎公園の駐車場の見学に行く。鶴見川が決壊すると水害を受けることになるので、その時に公用車を逃がす目的で使用できないかの見学。前回の訓練後に出された反省点なのだが、例えば幸風苑と南さいわいは距離が近いので、物資移送の際には協力して車一台にまとめて行くのも良いのではないかと、受入れ施設としても台数が少ない方がいいんじゃないかという意見が出された。また、E-Welfissが立ち上がるまでの近くの施設同士の連携というところで、確認してグループ Line を作成できたらという話になっている。

中原：7月4日の木曜日に情報伝達・物資移送訓練を行う。ひらまの里の佐藤施設長のところに物資を搬入する。昨年度はなかなか訓練ができなかったので、今年度はしっかり訓練を実施していこうというところで、訓練後に中原班会議を行う予定。実際に活かせるような訓練を考えていくというところで、それぞれの施設で抱えている課題を互いに確認し合ったり、発災時の連絡体制、必ずしも一つのツールが絶対に使えるとは限らなかったりするので、そのあたりも議題として話し合っていきたい。

高津：7月の3週目を目安に訓練を実施する方向で日程調整している段階。情報伝達訓練と合わせて物資移送訓練にするのか水リレーにするのかはまだ決めていないのだが、訓練後に会議を実施する予定。

宮前：7月の下旬の班会議開催に向けて日程調整しているところ。その後、物資移送訓練を実施する予定。

多摩：4月・7月・11月・1月の年4回訓練と会議を実施する予定。今回は人の派遣を掘り下げようと思っている。7月17日に多摩班会議を開催する。福祉避難所の応援職員受入マニュアルが災害プロジェクト委員会から出されているのだが、それを上手く修正して発災時の応援体制、応援依頼の基準をどう取り決めるか、応援職員の派遣先施設への移動方法とか、派遣先の施設でどのような業務を行ってもらうかといったものを協議して、10月の訓練で失敗しても良いのでやってみようというスケジュールで動いている。応援職員の派遣訓練もできるようになれば、物資移送訓練と二本立てで、月替わりで実施していきたいと思っている。

麻生：大雨警報の影響で、6月18日に実施予定だった物資移送訓練を中止し、情報伝達訓練のみを実施した。昨年度2月にもコロナの流行で中止になってしまい、なかなか訓練が実施できていない状況。今回、大雨警報が発出されたのだが、E-Welfissのスレッドが立たず、警報が出たら立ち上がるもんだと思っていたと吉野施設長と話した。

警報が出た際に、参加できる施設は限られるとは思うが、警報が出ているのだから E-Welfiss を立ち上げないといけないと思う施設が、災害に対して真剣に取り組んでいる施設が多くなっている状況で、実際訓練を実施してみても良いのかなという話もした。麻生班としては9月1日に二次避難所設営訓練の合間をぬって物資移送訓練を行う予定。班会議を行って、各施設の課題等を確認したり、連携の訓練というものに対しての見直し等も話し合えたら良いと考えている。

◇今後の予定

- ・川崎市総合防災訓練（金井原苑）

／9月1日（日）9時～

- ・第3回災害プロジェクト委員会・防災班長会議

／9月4日（水）10時～

- ・横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会災害プロジェクト委員会との意見交換会

／9月18日（水）15時～

2 人材プロジェクト委員会

◇第2回人材プロジェクト委員会／7月17日（水）14時～15時30分

◀協議概要▶

① ハローワーク「福祉の仕事」説明会について

○令和6年度スケジュール

日程	委員（南）	委員（北）
5/17（金）	<u>すみよし 和田施設長（講話①）</u> ※ハローワーク川崎	<u>等々力 岩壁施設長（司会）</u> ※福祉パルなかはら
7/19（金）	※ハローワーク川崎	<u>すえなが 平山施設長（講話・司会）</u> ※福祉パルたかつ
9/13（金）	※ハローワーク川崎	<u>大師の里 古敷谷施設長（司会）</u> ※エポックなかはら
11/12（火）	※ハローワーク川崎	<u>しおん 伊藤施設長（司会）</u> ※福祉パルみやまえ
1/17（金）	※ハローワーク川崎	<u>多摩川の里 茶園施設長（司会）</u> ※福祉パルたま
3/14（金）	※ハローワーク川崎	<u>金井原苑 吉野施設長（司会）</u> ※福祉パルあさお

⇒「介護の仕事って？」の動画が完成していないため平山副委員長に「福祉の現場からの声」の司会だけでなく、「施設でのケアの実際」の講話も担当していただく。

⇒社会福祉法人白山福祉会が「福祉の現場からの声」に協力してくれるのだが、1施設のみの参加となっているので、内容を深めるような付加的な質問について意見を募る。

→資格がない方、未経験の方でも、こういう仕事をしている人が自施設にいるというような回答を引き出せるような質問があると良い。

→休みの過ごし方、ワークライフバランスが取れていて余暇活動も楽しめるような質問も良いと思う。

② 福祉の仕事紹介動画「介護の仕事って？」について

職員からのコメント動画と家族からのコメント動画の撮影について

⇒「職員からのコメント動画」については多摩川の里の職員が協力。

→事業協会の吉田局長と担当職員でコメント動画撮影に何う日程を調整し、茶園施設長に連絡。

③ 人材定着に関するアンケートについて

岩壁副委員長と小林委員長と相談しながら作成したアンケート（別紙）について、6月13日に監修してくれているバックオフィス総研コンサルティング合同会社と内容を精査。対象は介護職員。設問の建付けとしては前半部分が衛生要因（外的要素）、後半部分が動機付要因（内的要素）に分けている。設問の内容や流れ等含めて意見を出してもらう。

⇒非常勤職員だと賞与の考え方が常勤職員と異なる。対象を「社会保険加入者」にした方が良いのではないか。

⇒2番の職場環境と、3番、4番の就業環境・給与面は逆でも良いと思う。5番の不適切対応は衛生要因の他の設問からすると色が少し違うので、衛生要因の最後に持って行っても良いと思う。

⇒6番の職場の雰囲気・コミュニケーションについての「親密性」というところが違和感。

親密性については人それぞれ感じ方が異なるのでない方が良い。

⇒施設単位で知りたいところにはフィードバックするという話があったかと思うが、社協が全市の傾向を知るためのアンケートなのに、施設長が内容を知っているとすると信頼感を損なうことになる。「施設長に共有しても良いか」という項目を作るのはどうか。

→施設長に把握されるとなると職員が正直な気持ちを答えなくなる。

→アンケート班で集まり検討。

⇒アンケート実施方法はアンケートフォームと紙媒体のハイブリット。

をの素案を作成。5月16日にバックオフィス総研コンサルティング合同会社と話し合っって設問を絞り、アンケート班で最終確認すると

いう流れになる。目的は、人材定着の課題に向けて働き手と雇い手の期待値と満足度の乖離をなくすこと。

④ 外国人技能実習制度の取り組みについて

7月11日に小林委員長と岩壁副委員長と、株式会社イーメディエイトの代表取締役、担当職員と情報交換を行った。現在の外国人人材の状況（円安の影響で日本に就労に来る人が減っていること等）、外国人人材の日本語の課題や取り巻く環境課題とその取り組み、登録支援団体やイーメディエイトの取り組み目標について話し合った。特に何か連携して取り組んでいくということではなく、外国人人材に関する取り組みが進んだら情報提供すること、課題が見つかったら共有してほしいこと、ミャンマーやネパールの方への支援に力を入れているので、外国人雇用を考えているなら気軽に相談してほしいことの話し合いがされるに留まった。

◇ハローワーク「福祉の仕事」説明会／7月19日（金）13時30分～14時30分

会 場：①ハローワーク川崎

②福祉パルたかつ

参加施設：1施設

（社会福祉法人白山福祉会 特別養護老人ホーム桜の丘）

参 加 者：①説明会22名

②説明会21名

（1）川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について

福祉の仕事・資格の案内

（2）施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 平山施設長

（3）福祉の現場からの声

司会：人材プロジェクト委員会 平山施設長

◇今後の予定：

第3回人材プロジェクト委員会／9月25日（水）10時～

ハローワーク「福祉の仕事」説明会／9月13日（金）13時30分～

介護職員アンケート調査について

介護人材の確保・定着について、今後人材プロジェクト（川崎市への提言を含む）及び各施設の人材定着、雇用の取り組みの参考にして頂くために、現任職員の皆様より率直なご意見等を頂きたく、無記名アンケートを実施することになりました。

また、集計しましたアンケート結果につきまして、社会福祉協議会のホームページで公表すると共に、各施設にフィードバックをしております。

（なお、本アンケートについては、外部コンサル機関である、バックオフィス総研コンサルティング合同会社に監修していただいております）

つきましては、大変お手数ですがご協力の程宜しくお願いいたします。

回答期日：

想定回答時間：

アンケート調査票

1. 基本項目

1. あなたの年代をお伺いします

☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上

2. あなたの性別をお伺いします

☐男性 ☐女性 ☐その他

3. あなたの現在勤めている施設での経験年数をお伺いします。

☐ 6ヵ月未満 ☐ 6ヵ月以上1年未満 ☐ 1年以上3年未満 ☐ 3年以上5年未満
☐ 5年以上

4. あなたの職責（主任・ユニットリーダー・一般介護職員等）をお伺いします

自由記述【 】

5. あなたの現在勤務する施設への入職時の状況をお伺いします

☐新卒で入職 ☐福祉業界から転職 ☐他業種から転職

6. あなたが入職した時の資格等の保有状況についてお伺いします。(複数回答可)

☐無資格 ☐ヘルパー☐初任者研修 ☐実務者研修 ☐介護福祉士 ☐社会福祉士
☐介護支援専門員 ☐その他（ ）

2. 就業環境について

1. 仕事への負担感はありますか？

☐全くない ☐あまりない ☐どちらともいえない ☐まあまあある
☐とてもある

2. 休憩時間を適切にとることができますか？

☐適切にとることができる ☐まあまあ適切にとることができる

☐どちらともいえない ☐あまり適切にとることができていない

☐全く適切にとることができていない

3. 時間外労働は平均すると月に何時間ぐらいありますか？

☐ 5 時間以内 ☐ 1 0 時間以内 ☐ 1 5 時間以内 ☐ 2 0 時間以内 ☐ 2 5 時間以内
☐ 3 0 時間以内 ☐ 3 5 時間以内 ☐ 3 6 時間以上

4. 1カ月の夜勤回数は何日間になりますか？

☐ 1～2日 ☐ 3～4日 ☐ 5～6日 ☐ 7～8日 ☐ 9日以上

5. 有給休暇を適切に取得することができていると思いますか？

☐ 十分できている ☐ まあまあできている ☐ どちらともいえない
☐ あまりできていない ☐ 全くできていない

6. 子育てや家族の介護に対する理解がある職場だと思いますか？

(育児休暇や介護休暇の取得のしやすさ等)

☐ とてもそう思う ☐ まあまあそう思う ☐ どちらともいえない
☐ あまりそう思わない ☐ 全くそう思わない

7. あなたが負担と感じる業務はなんですか？(3つまで)

☐ 移乗 ☐ 入浴 ☐ 排泄 ☐ 食事 ☐ 認知症の対応 ☐ 夜勤業務 ☐ 介護記録
☐ 余暇活動 ☐ リーダー業務 ☐ 事故報告書等の作成 ☐ その他()

3. 給与等待遇について

1. あなたの年収(税込)を教えてください。

☐ 300万円未満 ☐ 350万円未満 ☐ 400万円未満 ☐ 450万円未満
☐ 500万円未満 ☐ 500万円以上

2. 現在のご自分の仕事内容での賃金は適切だと思いますか？

☐ 適切 ☐ まあまあ適切 ☐ どちらともいえない ☐ あまり適切ではない
☐ 全く適切ではない

3. あなたの施設の各種手当を教えてください

☐ 夜勤手当 ☐ 早番手当 ☐ 遅番手当 ☐ 休日出勤手当 ☐ 皆勤手当 ☐ 資格手当 ☐ 住宅手当
☐ 扶養手当 ☐ 奨学金返済等の手当 ☐ 役職手当 ☐ 地域手当 ☐ 食事手当 ☐
その他()

4. あなたの施設の各種手当額は適切だと思いますか？

☐ 適切 ☐ まあまあ適切 ☐ どちらともいえない ☐ あまり適切ではない
☐ 全く適切ではない

5. あなたの施設の定期昇給額は適切だと思いますか？

- ☐適切 ☐まあまあ適切 ☐どちらともいえない ☐あまり適切ではない
☐全く適切ではない

6. あなたの施設の賞与額は何ヵ月分ですか？

- ☐ない ☐1 ヶ月 ☐1.5 ヶ月 ☐2 ヶ月 ☐2.5 ヶ月 ☐3 ヶ月 ☐3.5 ヶ月
☐4 ヶ月以上

7. あなたの施設の賞与額は適切だと思いますか？

- ☐適切 ☐まあまあ適切 ☐どちらともいえない ☐あまり適切ではない
☐全く適切ではない

4. 職場環境について

1. あなたの施設は働きやすい職場環境だと思いますか？

- ☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない ☐あまりそう思わない
☐全くそう思わない

2. 自宅から施設への通勤の負担（通勤時間・通勤手段）はありますか？

- ☐全くない ☐あまりない ☐どちらともいえない ☐まあまあある
☐とてもある（遠すぎる等）

3. あなたの施設（事務所やトイレ等）は清潔だと思いますか？

- ☐とても清潔 ☐まあまあ清潔 ☐どちらともいえない ☐あまり清潔ではない
☐全く清潔ではない

4. あなたの施設の備品（文房具やキャビネット、オムツ等）は過不足なく揃っていると思いますか？

- ☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない ☐あまりそう思わない
☐全くそう思わない

5. あなたの施設の備品（文房具やキャビネット、オムツ等）は整理整頓されていると思いますか？

- ☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない ☐あまりそう思わない
☐全くそう思わない

6. あなたの施設に導入されている福祉用具や ICT で十分だと感じますか？

- ☐十分 ☐まあまあ十分 ☐どちらともいえない ☐あまり十分ではない
☐全く十分ではない

5. 不適切な状況等への対応について

1. 利用者・家族からハラスメントを受けたこと、もしくは他の職員が受けたのを見聞きしたことがありますか？
☐ある ☐ない
2. 職場内でハラスメントを受けたこと、もしくは他の職員が受けたのを見聞きしたことがありますか？
☐ある ☐ない
3. あなたの施設は適切なハラスメント対策（発生前・発生後）をしていると思いますか？
☐とてもそう思う ☐まあまあしてくれる ☐どちらともいえない
☐あまりしてくれない ☐全くしてくれない
4. あなたの施設は虐待予防に積極的に取り組んでいると思いますか？
☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない
5. あなたの施設の他職員による利用者に対しての不適切な対応をみたことがありますか？
☐よくある ☐たまにある ☐ない
6. あなたの施設に不適切な対応をした職員に注意できる環境があると思いますか？
☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない

6. 職場の雰囲気やコミュニケーションについて

1. あなたの施設の人間関係は良いほうだと思いますか？
☐とても良い ☐まあまあ良い ☐どちらともいえない ☐あまり良くない
☐全く良くない
2. 困った時、直属の上司に相談しやすいですか？
☐とても相談しやすい ☐やや相談しやすい ☐どちらともいえない
☐あまり相談しやしくない ☐全く相談しやしくない
3. 直属の上司からの指示は適切だと思いますか？
☐とても適切 ☐やや適切 ☐どちらともいえない
☐あまり適切ではない ☐全く適切ではない

4. 直属の上司からの指導は適切だと思いますか？

- ☐とても適切 ☐やや適切 ☐どちらともいえない
☐あまり適切ではない ☐全く適切ではない

5. 直属の上司との親密性（ランチや業務外のプライベートな時間）はありますか？

- ☐とてもある ☐ややある ☐どちらともいえない ☐あまりない ☐全くない

6. 困った時、同僚（先輩・同期・後輩）に相談しやすいですか？

- ☐とても相談しやすい ☐やや相談しやすい ☐どちらともいえない
☐あまり相談しやしくない ☐全く相談しやしくない

7. 同僚と協力しながら仕事できていますか？

- ☐とても協力できている ☐やや協力できている ☐どちらともいえない
☐あまり協力できていない ☐全く協力できていない

8. 同僚との親密性（ランチや業務外のプライベートな時間）はありますか？

- ☐とてもある ☐ややある ☐どちらともいえない ☐あまりない ☐全くない

7. 仕事内容・やりがい等

1. 仕事のやりがいを感じていますか？

- ☐とても感じている ☐まあまあ感じている ☐どちらともいえない
☐あまり感じない ☐全く感じない

2. 仕事の成果や自分自身の成長を感じていますか？

- ☐とても感じている ☐まあまあ感じている ☐どちらともいえない
☐あまり感じない ☐全く感じない

3. 今の仕事はあなたの専門性や能力を発揮できるものだと感じていますか？

- ☐とても感じている ☐まあまあ感じている ☐どちらともいえない
☐あまり感じない ☐全く感じない

4. 今の施設での自分の役割は自身に合っていると感じていますか？

- ☐とても感じている ☐まあまあ感じている ☐どちらともいえない
☐あまり感じない ☐全く感じない

5. 自分の仕事を適切に評価してもらえていると感じていますか？

☐適切に評価されている ☐まあまあ適切に評価されている ☐どちらともいえない
☐あまり適切に評価されていない ☐全く適切に評価されていない

6. やりがいを感じる時、業務はありますか？

自由記述【

8. 育成環境

1. あなたは入職時、職務指導をしっかりともらったと思いますか？

☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない

2. あなたの施設は職務指導・教育（OJT）をしっかりとできていると思いますか？

☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない

3. あなたの施設の研修等の学習の機会やスキルアップの機会は十分だと思いますか？

☐十分 ☐まあまあ十分 ☐どちらともいえない ☐あまり十分ではない
☐全く十分ではない

4. あなたの施設の資格取得や研修受講を後押しする制度（資格取得助成や職免扱い、勤務扱い等）は十分だと思いますか？

☐十分 ☐まあまあ十分 ☐どちらともいえない ☐あまり十分ではない
☐全く十分ではない

5. あなたの施設で今後取り入れてほしい研修等（階層別研修、e-ラーニング、育成面接等）はありますか？

☐ある ☐ない

自由記述【 】

9. その他

1. 今の施設であなたが目標としている先輩・同僚又は上司がいますか？

☐いる ☐いない

2. 外国人の採用を積極的にしてもらいたいと思いますか？

- ☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない

3. 外国の方が入職した場合、あなたの施設ではしっかりと指導ができると思いますか？

- ☐とてもそう思う ☐まあまあそう思う ☐どちらともいえない
☐あまりそう思わない ☐全くそう思わない

4. 外国人職員と日本人職員の関係は良いと感じますか？（外国籍労働者がいる場合にお答えください）

- ☐とても良い ☐まあまあ良い ☐どちらともいえない ☐あまり良くない
☐全く良くない

5. 外国人職員の処遇は日本人職員と比較して優遇されていると感じますか？

- ☐とてもそう感じる ☐まあまあそう感じる ☐どちらともいえない
☐あまりそう感じない ☐全くそう感じない

6. あなたが現在の施設へ入職した経路をお伺いします（複数回答可）

- ☐ハローワーク ☐ホームページ ☐web 媒体 ☐人材紹介 ☐知人の紹介
☐就職相談会 ☐その他（ ）

7. あなたが、現在の施設に入職する決め手になったこと、期待したことについてお伺いします？（複数回答可）

- ☐給与 ☐休み ☐研修体制 ☐施設の雰囲気 ☐家から近い ☐資格取得支援
☐就職お祝い金 ☐その他（ ）

8. 今まであなたの施設を退職した職員は何が原因だと感じますか？（複数回答可）

- ☐人間関係（上司） ☐人間関係（同僚） ☐給与等 ☐福利厚生関係
☐仕事が合わない ☐病気 ☐業務量が多い ☐腰痛 ☐モラハラ等
☐仕事が嫌いになった ☐PC が苦手 ☐時間外が多い ☐サービス残業
☐人事考課がない

9. 退職経験のある方に伺います

「こういうものがあれば辞めずに済んだ」というものがあれば教えてください
フリー回答

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

（１） 会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

（２） 正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

（３） 施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和 6 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：介護報酬改定を受けて取り組みが変化したことや新たにに取り組むようになったこと

内 容：加算取得状況や夜間宿直の取り扱いの変化等について

3 令和 6 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について

内 容：介護大学校、喀痰吸引研修等

4 令和 6 年度第 1 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テ ー マ：介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか

内 容：病院と特養の連携、介護福祉士養成の取り組み

話題提供：社会福祉法人照陽会 特別養護老人ホームみんなと暮らす町 広嶋施設長

5 過去の情報交換会テーマ一覧

【令和3年度】

6月16日	アフターコロナの施設運営について
8月25日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10月20日	With コロナの施設運営について
12月15日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

【令和4年度】

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

令和 6 年度 神奈川県社会福祉施設協議会施設部会老人福祉施設協議会
第 1 回総会

日 時：令和 6 年 6 月 2 7 日（月） 1 3 時 3 0 分～ 1 4 時 3 0 分

会 場：神奈川県社会福祉センター 4 階

挨拶：西山会長

議事進行：西山会長

■議題

- 1 委員の交代について…別紙資料
⇒ 横浜市、相模原市が改選期のため委員変更
横浜市は 1 名（5 名中）、相模原市は 4 名（5 名中）変更
相模原市は大久保委員が市部会長に選任されたため、県副会長に就任
- 2 令和 5 年度事業報告並びに収支決算（案）について
⇒ 県社協担当職員より説明後、承認
- 3 令和 6 年度補正予算（案）について
⇒ 県社協担当職員より説明後、承認
- 4 かながわ高齢者福祉研究大会事業の見直しについて…別紙資料
⇒ 県社協の大関課長より企画案について説明後、承認
第 2 2 回かながわ高齢者福祉研究大会開催に向けた実行委員会立ち上げのため、実行委員選出依頼を 4 県市の事務局に送付
8 月上旬頃に第 1 回実行委員会開催予定
- 5 高齢者福祉施設 PR 委員会（仮称）の設置について
⇒ 県社協の大関課長より概要説明後、設置について承認
委員長には大久保副会長が就任
一般向けの高齢者福祉施設の魅力発信等を検討する委員会になる
- 6 課題別部会について
⇒ 県社協の大関課長より各部会について説明
改選に伴う委員交代により各部会構成委員が変更
施設運営部会の委員長が阿部前副会長から加藤副会長に変更
人材確保に関する部会の清水副会長、災害対応に関する部会の前田副会長は変更なし
- 7 福祉サービス利用者意向調査キット利用料助成金について
⇒ 県社協の橋本部長より説明
令和 6 年 5 月に会員施設宛てに案内を発送済み
1 施設 5 万円の助成で、3 施設分 1 5 万円を予算として計上

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 委員推薦者名簿

(任期：令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

◎：会長 ○：副会長

No.	委員氏名等	種 別	施 設 名	選 出 母 体
1	○ 加藤 馨	特養	陽光の園	神奈川県 高齢者福祉施設協議会
2	森 弘樹	特養	ヒューマン	
3	井上 政江	特養	はまゆう	
4	川瀬 和一	特養	藤沢養護老人ホーム	
5	小泉 昇	特養	ル・リアンふかみ	
6	◎ 西山 宏二郎	特養	弥生苑	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会
7	○ 前田 卓哉	特養	たきがしら芭蕉苑	
8	内野 恵章	特養	ピア市ケ尾	
9	晝間 靖裕	特養	やまゆりホーム	
10	紺野 智秋	特養	泉の郷	
11	○ 清水 完敏	特養	夢見ヶ崎	川崎市社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
12	白井 裕一	特養	富士見プラザ	
13	平山 みちる	特養	すえなが	
14	関口 英志	特養	おだかの郷	
15	田邊 亜佳音	特養	片平長寿の里	
16	○ 大久保 祐次	特養	社会福祉法人 蒼生会	相模原市社会福祉協議会 高齢者福祉施設部会
17	北村 和之	軽費	ケアハウス実の里	
18	石橋 正和	特養	青根苑	
19	常盤 拓司	特養	相陽台ホーム	
20	萩原 貴	軽費	ケアハウス中の郷	
21	篠原 正治	特養	上郷苑	顧問相談役（県社協会長）

※各選出母体の一番目の委員が当該選出母体団体の代表者

◇大会テーマについて

～2040年を魅力的な福祉・介護の未来に変える～

2040 年問題とは、高齢化と人口減少が進行する中で予想される一連の社会的・経済的問題を指します。2040 年頃に団塊ジュニア世代層（1971 年から 1974 年生）が 65 歳を超え、全人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合が約 35%に達すると予測されています。この状況下では、現在の医療、介護、年金などの社会保障制度の持続性に対する疑念が指摘されていることから 2040 年問題と名付けられました。

同時に少子化の勢いも止まらず、出生率は 2022 年には 1.26 と 2005 年と並んで過去最低を記録し、出生数も初めて 80 万人を下回る 77 万人となりました。2040 年頃には現役世代に対する年金受給者の比率が高まっていると想定され、現役世代の負担が増大すると予測されています。また、医療や介護の需要増加に対して、人員や財源の不足が深刻化することも見込まれています。厚生労働省によれば、社会保障給付費は 2040 年には 190 兆円に達し、2023 年度の 134 兆円（予算ベース）と比較して約 1.4 倍に増加する見通しです。さらに、労働力の不足、生産性の低下、地方の過疎化、世代間格差の拡大など、多岐にわたる問題が懸念されています。

この問題に対処するためには、社会保障制度の改革や少子化対策、女性や高齢者の活躍など、多角的な視点からの取り組みが急務となっています。また個々人も自助努力を重視した生活設計が重要となるでしょう。

◇2040 年 高齢化と人口減少が進行する社会

◇2040 年 人員や財源の不足が深刻化する社会

◇2040 年 労働力の不足、生産性の低下など多岐にわたる問題が懸念される社会

2040 年は、上記のような社会となることが予測され、それは、現在 2024 年から、そう遠い未来ではありません。これらの問題に私たちは、どのように対応し、これからの福祉・介護の未来を描いたら良いのでしょうか？これに正面から向き合い、考えることが新しい大会のテーマです。

◇発表テーマと募集発表数について

大会テーマ（投げかけ）に対して発表テーマ（ジャンル）は特に問いません。それぞれの施設・事業所でこのテーマに向き合い、考えられることを考察・研究しエントリーしてください。

発表テーマ（ジャンル）は特に問いませんが、考えられる分野としては、次のようなことが考えられます。

(発表テーマ例)

- ◇2040 年問題に対して、生産性向上を図るために、どのような取り組みが考えられるか。
- ◇人材不足が予測される中で、I C T化を図り効率的に運営し、適材適所に職員を配置する。
- ◇処遇改善の一本化を図り、外国人・高齢者・未経験者・中高年等、多様なキャリアパスを実現する。
- ◇今までのかかりつけ医との関係を発展させ、医療との連携がさらに充実し安心感が増した。
- ◇2040年を見据えた認知症ケアのあり方として求められることは何か。

募集発表数は概ね県全体で 32 題～40 題を募集します。各ブロック（県および 3 政令市）からの推薦により、エントリーを受け付けます。詳細は各ブロック事務局にお問合わせください。

施設単独ではなく大学や関係者とのコラボエントリーも可とします。

◇介護技術発表について

介護技術発表についても、大会テーマ（投げかけ）を受けての技術発表となります。2040 年の状況を考察した上で、次のテーマに対して、いかに介護技術の向上及び発揮をしていくかを考え発題してください。

(発表テーマ例)

- ◇食事・口腔ケアについて
- ◇移乗について
- ◇認知症対応について
- ◇災害時の避難誘導

◇審査及び発表内容の発信等について

そのテーマにつながる関係性の深いかつ専門的知識を有する方を審査員とします。審査後は、なぜその発表が優れているか等、講評（コメント）により次なるエントリーにつながる情報発信を行います。また、大会当日の会場での発表に加え、オンデマンドでの視聴を可能とする仕組みにするとともに、大会後は、その発表がアーカイブ化され、貴重な提言として蓄積され、さらに、これからの未来の職員の参考となります。

参加費は会場参加8千円、オンデマンド視聴4千円で検討しています。

◇会場について

パシフィコ横浜（3階フロア貸切）を会場とします。

会場での来場者は 600 名、オンライン視聴者数は 100 名を見込んでいます。

◇開催時期について

令和7年7月2日（水）を予定しています。

多くのみなさんの考察・研究への挑戦を期待しています！

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
施設部会老人福祉施設協議会 会長 殿

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会 会長 西山 宏二郎

第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員の選出について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年 10 月より全 5 回開催いたしました「かながわ高齢者福祉研究大会今後のあり方検討会」におきましては、貴会より多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、標記大会の開催に向けて、新たに実行委員会を組織することとなりました。

つきましては、貴会より実行委員会委員の選出をいただきたく、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、別紙にてご回答くださいますようお願い申し上げます。

1. 選出人数 4 名

2. 回答期限 令和 6 年 7 月 26 日（金）

3. 選出にあたっての留意点

- (1) 県老施協委員会との連動を図るため、推薦者のうち 1 名は県老施協委員を選出してください。
ただし、選出人数の中に各団体の会長・事務局は含みません。
- (2) 各団体との協力・周知体制を構築するため、推薦者のうち 3 名は施設長を選出してください。
- (3) 大会の継続性を図るため、推薦者のうち 3 名以上を実行委員経験者から選出してください。
- (4) 選出者は本会老人福祉施設協議会会員もしくは入会予定施設に所属する方に限ります。
※推薦者につきましては、各系の活動内容を踏まえ、ご検討ください。（参考別紙）

4. 第 1 回実行委員会の開催について

次の開催日につきまして、委員候補者へご周知くださいますようお願いいたします。

・ 第 1 回実行委員会

日時 8 月 7 日（水）午前 10 時～12 時

場所 神奈川県社会福祉センター7 階 701

事務担当は、

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会福祉サービス推進部／関

TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302 E-mail sisetu@knsyk.jp

第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会 実行委員会委員の選出について

令和 7 年度第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会の開催に向けて、各ブロック及び養成校より実行委員会委員選出の依頼を行う。

1. 選出人数 19 名

〈係別・ブロック別選出人数のめやす〉

	総数	全体統括	研究発表	介護技術	協賛企業	大会運営
県	5	(1)	2	①	1	1
横浜	5	① (2)	1	1	①	1
川崎	4	(1)	1	1	1	①
相模原	4	(1)	①	1	1	1
介養協	1	0	0	0	1	0
計	19	1 (5)	5	4	5	4

※ 1 太枠囲みは幹事ブロック

※ 2 ○付数字は、副実行委員長（各係の統括責任者、全体統括担当）を含みます。

※ 3 委員推薦の結果、委員経験者数に偏りがある等の場合にはブロック別内訳数を変更して調整をお願いする場合があります。

※ 4 各係の企画・運営に必要なアドバイザーや係員については、第 22 回かながわ高齢研究大会実行委員会での協議を踏まえて適宜調整します。

(参考) 第 21 回大会依頼状況

	総数	全体統括	研究発表	介護技術	就職/企業	大会運営
県	6	① (2)	2	1	①	1
横浜	5	(1)	2	1	1	①
川崎	5	(1)	②	1	1	1
相模原	5	(1)	2	①	1	1
介養協	1	0	0	0	1	0
計	22	1 (5)	8	4	5	4

2. 委員任期 令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日 ※第 1 回実行委員会開催月より

3. 選出にあたっての留意点

- (1) 県老施協委員会との連動を図るため、推薦者のうち 1 名は県老施協委員を選出する。
ただし、選出人数の中に各団体の会長・事務局は含まない。
- (2) 各団体との協力・周知体制を構築するため、推薦者のうち 3 名は施設長を選出する。
- (3) 大会の継続性を図るため、推薦者のうち 3 名以上を実行委員経験者から選出する。
- (4) 選出者は本会老人福祉施設協議会会員もしくは入会予定施設に所属する者に限る。

※各係に期待される役割・活動内容をご理解の上、推薦者についてご検討ください。

担当係	主な役割（第20回大会実行委員、第21回大会実行委員の動きから）
全体統括	○全体の進行管理 ○副実行委員長（各係の統括責任者）との連絡・調整 ○招待者・視察希望者・報道機関等への対応 等 ○開催周知に関する関係機関との連絡・調整 ※実行委員長、副実行委員長、県老協正副会長・顧問相談役で構成
研究発表	○研究発表テーマ、発表・審査方法、コンプライアンス等の企画検討 ○研究発表者事前説明会・研修会の企画開催 ○大会当日：各発表会場の運営（オリエンテーション～審査～表彰）等
介護技術発表	○発表題・利用者モデル・発表課題・評価項目・評価者等の企画検討 ○大会当日：各発表会場の運営（オリエンテーション～総評）等
協賛企業	○協賛企業（第20回は大会ホームページでの掲載） ・「協賛企業広告」の企画検討 ・関係企業への広報周知 ・大会当日：出展企業の受付案内・運営管理（前日準備を含む）等 ○法人・企業協賛広告の掲載方法の検討、募集要項の検討
大会運営	○大会テーマの検討 ○広報物（ポスター、要綱、ホームページ）の企画作成 ○大会当日：来場者の受付案内（前日準備を含む）、大会記録等 ○オンデマンド視聴に関する対応（第22回大会より） ○アーカイブ構築に関する検討（第22回大会より）

4. 実行委員会の開催予定（別紙：年間スケジュール）

○第1回実行委員会

- ・第1回実行委員会

日時 8月7日（水）午前10時～12時

場所 神奈川県社会福祉センター7階 701

かながわ高齢者福祉研究大会
実行委員長及び副実行委員長（係別統括責任者）
輪番一覧表

※敬称略

回	開催年度	実行委員長	ブロック	研究発表	介護技術発表	就職相談・企業協賛	大会運営
15	28年度	金子修一 (みかど荘)	川崎	米山康之 (芹沢ホーム)	前田卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	牧田 正之 (片平長寿の里)	赤間源太郎 (緑JOY)
16	29年度	赤間源太郎 (緑JOY)	相模原	杉本信雄 (羽沢の家)	仁科淳子 (桜寿園)	小林立 (千代田デイサービスセンター)	浅葉統太 (横須賀椿園)
17	30年度	森弘樹 (ヒューマン)	県域	高松繁行 (多摩川の里)	及川悦子 (柴胡苑)	古谷田紀夫 (みなみ風)	西山宏二郎 (弥生苑)
18	令和 元年度	牧野裕子 (第二新横浜パークサイドホーム)	横浜	萩原 正晃 (はなさか)	古谷田 紀夫 (みなみ風)	水越 洋二 (本牧ホーム)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)
19	2・3年度	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)	川崎	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	前田 卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	白井 裕一 (富士見ブラザ)	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)
20	4年度	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)	相模原	水越 洋二 (みなもの桜)	牧田 正之 (多摩川の里)	山口 忠夫 (東橋本ひまわりホーム)	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)
21	5年度	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	県域	平山 みちる (驚ヶ峯)	川上 徹 (特別養護老人ホームモモ)	関田 智彦 (ルビーホーム)	晝間 靖裕 (やまゆりホーム)
22	7年度	(横浜)	横浜	(相模原)	(県域)	(横浜)	(川崎)
23	9年度	(川崎)	川崎	(県域)	(横浜)	(川崎)	(相模原)

※1 担当係は「県→横浜→川崎→相模原」の順で持ち回り
 ※2 実行委員長担当ブロックの前年度担当係は「大会運営」とする
 ※3 第22回大会より就職相談は含まず「協賛企業」のみとする

■ 第22回大会 実行委員会等スケジュール【予定】

	実行委員会の動き	大会事務等	参考：県社協老施協
令和6年度 5月	(あり方検討委員会⑤)		委員会
6月			総会・研修会
7月	(実行委員選出依頼)		
8月	第1回実行委員会 8/7(水) 第1回実行委員会 (役割分担、企画予算・年間予定、係別打合せ等)		
9月			
10月		・各ブロック予選会順次開始	
11月	○第2回実行委員会 (予選会、評価方法等)		
12月			
1月		・大会ホームページ更新	正副会長等会議
2月	○第3回実行委員会 (開催要綱、発表割当等)		委員会
3月	○研究発表プレゼン研修会 ○介護技術発表事前説明会	・協賛企業出展等募集開始 ・大会参加者募集開始	総会・研修会
令和7年度 4月	○第4回実行委員会 (係員、事前準備、周知方法等)	・大会参加申込締切①	正副会長等会議
5月		・研究発表・介護技術発表資料①提出締切 ・法人・企業広告提出締切	委員会
6月	○第5回実行委員会・係員説明会 (当日運営、資料・備品・標示等) ○就職相談参加法人説明会	・大会参加申込締切②(期間延長) ・研究発表・介護技術発表資料②提出締切	総会・研修会
7月	○7/1(火) 前日準備 ○7/2(水) 第22回かながわ高齢者福祉研究大会 ○発表責任者等打合せ会 (優秀賞の決定、審査結果の公表・開示等)	・優秀賞の決定、希望者への審査結果開示	
8月			
9月	○第6回実行委員会・優秀賞表彰式 (開催状況・決算案、課題点等)		

第22回かながわ高齢者福祉研究大会 実行委員会委員の選出について【回答】

〔別紙〕

標記実行委員について次のとおり推薦いたします。

団体名： 川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会

※実行委員会の事務連絡は、原則メールとさせていただきます。

	担当係候補	氏名	所属施設名	役職名	郵便番号	連絡先		備考
						住所	TEL/FAX	
1	研究発表	岩壁 信行	特別養護老人ホーム等々力	施設長	211-0051	川崎市中原区宮内4-19-26	TEL 044-753-2260	実行委員経験者
							FAX 044-753-2261	
							E-mail※ kasugakai@bz01.plala.or.jp	
2	介護技術発表	茶園 恵美子	特別養護老人ホーム多摩川の里	施設長	214-0012	川崎市多摩区中野島6-13-5	TEL 044-935-5200	
							FAX 044-935-3511	
							E-mail※ tamagawanosato@kfj.or.jp	
3	協賛企業	古敷谷 耕平	特別養護老人ホーム大師の里	施設長	210-0824	川崎市川崎区日ノ出2-7-1	TEL 044-266-1191	実行委員経験者
							FAX 044-266-1198	
							E-mail※ daishinosato@majima-fukushikai.jp	
4	大会運営	平山 みちる	介護老人福祉施設すえなが	施設長	213-0013	川崎市高津区末長1-3-13	TEL 044-861-5318	県老施協委員
							FAX 044-861-6194	
							E-mail※ suenaga-shisetsu@orion.ocn.ne.jp	

第 2 2 回かながわ高齢者福祉研究大会に向けた協議・確認事項

令和 7 年度開催の第 2 2 回かながわ高齢者福祉研究大会から開催方法が大幅に変更されます。

○研究発表及び介護技術発表は“大会テーマに即した内容”の考察・研究になります。

これまでは発表テーマ（口腔ケア・認知症ケア・医療連携・ICT・地域包括・デイサービス等）が出されており、それぞれのジャンルで提出していましたが、第 2 2 回からジャンルは問われなくなります（詳しくは「企画書」をご覧ください）。

大会テーマは、「2040 年を魅力的な福祉・介護の未来に変える」になります。

○会場はパシフィコ横浜 会議センター 3 階フロアのみ

これまでは 2 階から 5 階まで全体を借り、研究発表を 3 階と 5 階、介護技術発表を 4 階で開催していましたが、第 2 2 回からは研究発表を 301～304 の 4 会場、介護技術発表を 315 の 1 会場で開催することになります。

○会場の変更に伴い 目標発表題数が減少します。

第 2 1 回の目標発表題数が研究発表 80 題（発表決定 86 題）、介護技術発表 20 題（発表決定 7 題）でしたが、第 2 2 回からは 研究発表 32～40 題（1 会場 8～10 題を想定）、介護技術発表 8 題（1 会場 8 題）になります。

○目標発表題数に応じて 4 県市それぞれにも 目標発表題数割当て分が設けられており、研究発表については神奈川県域 12、横浜市域 12、川崎市域 8、相模原市域 6（合計で 38 題）、介護技術発表については神奈川県域 2、横浜市域 2、川崎市域 2、相模原市域 2（合計で 8 題）となっています。

○発表募集は 各ブロック（4 県市）からの推薦により県社協に提出する形になります。

そこで…

①第 2 2 回大会に研究発表ならびに介護技術発表を出す予定があるかどうか意向調査をさせていただきます（9 月 13 日提出締切で）。

※第 2 2 回大会テーマからは外れてしまうかもしれないが、研究を重ねていて、従来通りの大会であれば発表したいと考えていた研究があるかどうか確認させていただきます。

②川崎市高齢者福祉研究大会（川崎大会）を令和7年2月頃に開催しても良いでしょうか？

※かながわ大会に先立ってプレ発表を行うことで、かながわ大会で自信を持って発表することができるようにするため。

また、学識者に審査員をお願いし、発表への意見をもらうことで、より研ぎ澄まされた発表をかながわ大会に持っていくことができるようにするため。

加えて、発表を募集して目標数よりも多くの発表が集まった場合に、かながわ大会に推薦する発表をどれにするか審査するため（第21回大会では川崎市内施設からの応募は10題）。

③川崎大会を開催するにあたって、ある程度の枠組みを設けるためにも実行委員会を立ち上げて良いでしょうか？立ち上げて良いとしたら、第22回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員に川崎大会の実行委員も兼ねてもらう形でよろしいでしょうか？

※かながわ大会実行委員は4名なので、追加で実行委員の協力依頼をさせていただく可能性がございます。

令和 6 年度 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第 2 回代表者会

議事報告

日 時：令和 6 年 6 月 2 7 日（木） 1 5 時 2 0 分から

会 場：ホテルメトロポリタンエドモント 2 階

● 議 事

議案第 1 号 令和 5 年度事業報告について

事務局から説明後、承認

議案第 2 号 令和 5 年度一般会計収支決算について

事務局から説明後、承認

● その他

○第 5 9 回関東ブロック老人福祉施設研究総会（長野大会）について

開催プログラムが完成したため 7 月上旬に各都県市事務局に送付予定

プログラムに基づき坂内実行委員長が概要について説明

○第 6 0 回関東ブロック老人福祉施設研究総会（東京大会）について（別紙資料）

令和 7 年度大会について概要（素案）に基づき東京都から説明

第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究総会

第 20 回アクティブ福祉 in 東京' 25 合同大会の概要（素案）

（テーマ）「_____～_____～」

- 1 主催 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
- 2 共催 東京都社会福祉協議会 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 3 後援 東京都
公益社団全国老人福祉施設協議会（予定）
- 4 期日 令和7年6月12日（木）～13日（金）
- 5 会場 1日目（全体会）：東京ビッグサイト 国際会議場
2日目（分散会）：TOC 有明 4 階 East&West・20 階 WESTGOLD20 ホール
(裏面参照)
- 6 参加人数 1,200 人
- 7 参加費 1 人 15,000 円（予定）
- 8 日程（予定）

■全体会 令和7年6月12日（木）

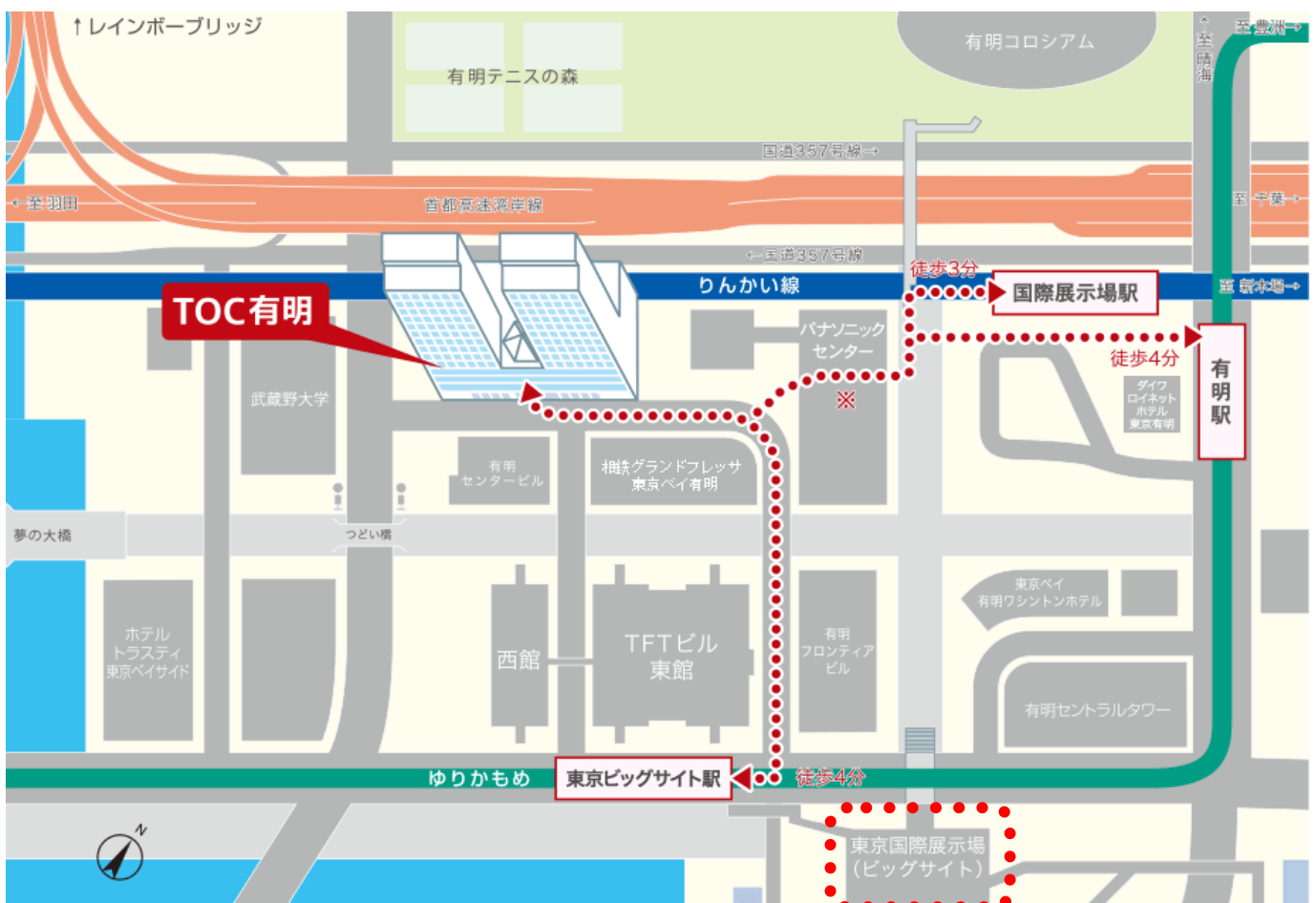
日程	時間	関ブロ	アクティブ
1 日目 (全体会)	11:20-12:20	0: 受付	※関ブロに参加可
	12:20-12:50	1: アトラクション	
	13:00-13:50	2: 開会式	
	14:00-14:30	3: 基調報告	
	14:30-15:00	4: 行政報告	
	15:00-15:15	5: 休憩	
	15:15-16:15	6: 記念講演	
	16:20-16:30	7: 次回開催県紹介、閉会	

■分科会 令和7年6月13日（金）

日程	時間	関ブロ	アクティブ
2 日目 (分散会)	8:30-	受付	
	09:00-	オリエンテーション	オリエンテーション
	09:15-09:30	発表① × 5会場	① ① ①
	09:35-09:50	発表② × 5会場	② ② ②
	09:55-10:10	発表③ × 5会場	③ ③ ③
	10:15-10:30	発表④ × 5会場	④ ④ ④
	10:45-11:00	発表⑤ × 5会場	⑤ ⑤ ⑤
	11:05-11:20	発表⑥ × 5会場	⑥ ⑥ ⑥
	11:25-11:40	発表⑦ × 5会場	⑦ ⑦ ⑦
	11:45-12:00	発表⑧ × 5会場	⑧ ⑧ ⑧
	12:05-12:20	各部屋で表彰	昼休憩
	13:45-14:00	-	⑨ ⑨ ⑨
	14:05-14:20	-	⑩ ⑩ ⑩
	14:25-14:40	-	⑪ ⑪ ⑪
	14:45-15:00	-	⑫ ⑫ ⑫



分散会場の TOC 有明 20 階からの光景（左側中央が全体会場のビックサイト）



令和6年8月22日

関東ブロック各都県政令市
老人福祉施設連絡協議会
デイサービスセンター協議会
代表者及び事務局長 様

第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会
大会会長 萱垣 光英
実行委員長 坂内 孝之

**第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会長野大会
の参加申込み期限の延長及び参加促進の依頼について**

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

標記大会には、何かとご尽力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、参加促進については、機会あるごとに呼びかけをさせていただき、お陰様で徐々にではありますが、申込者が増加しております。皆様方のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

しかし、申込期限を明日23日に設定いたしておまして、現在の申込者数は別添資料にありますように、目標値のレベルには到底及ばない状況です。

つきましては、参加申込み期限を9月13日（金）まで延長し、各都県市老協等の皆様にも更なるご協力と参加促進活動をお願い申し上げる次第でございます。

標記大会の成功にむけて、何卒よろしくお願いいたします。

記

- | | |
|--------|---|
| 1 期 日 | 令和6年10月3日（木）12：20～16：30（全体会・展示会）
令和6年10月4日（金） 9：00～12：25（分科会） |
| 2 場 所 | 1日目 全体会・展示会：ホクト文化ホール
2日目 分科会：ホテルメトロポリタン長野（第1～第4分科会）
シャトレゼホテル長野（第5～第7分科会） |
| 3 申込期限 | 令和6年 <u>9月13日（金）</u> まで延長 |
| 4 申込方法 | 申込参加サイトから申込む（応相談でFAXでの申し込みも可能）
WEB ページ URL： 第59回関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会 ログイン (mwt-mice.com) |

※「開催案内パンフレット」は、長野県高齢者福祉事業協会のホームページ
（[長野県高齢者福祉事業協会 - 関ブロ長野大会 \(google.com\)](https://www.google.com)）からもダウンロードできます。

【関ブロ長野大会事務局】

一般社団法人 長野県高齢者福祉事業協会 事務局

〒380-0936 長野市中御所岡田98-1 長野保健福祉事務所庁舎内

TEL：026-228-5005 FAX：026-228-5045

E-mail：jimukyoku@naganokfk.jp

第59回 関ブロ研究総会 長野大会 都県市別の申込参加者数の達成率

(単位：人・％)

都県市名	長野大会への 参加者目標数 (4月11日公表)	8月22日現在の 申込者人数	達成率 (％)	摘 要
茨城県	81	51	63%	
栃木県	94	62	66%	
群馬県	99	70	71%	
埼玉県	70	37	53%	埼玉県 33 さいたま市 4
さいたま市				
千葉県	107	40	37%	千葉県 28 千葉市 12
千葉市				
東京都	72	35	48%	
神奈川県	109	48	44%	神奈川県 30 横浜市 13 川崎市 3 相模原市 2
横浜市				
川崎市				
相模原市				
新潟県	68	74	109%	
山梨県	34	24	72%	
静岡県	66	41	62%	
長野県	300	215	72%	
合 計	1,100	697	63%	うち一般参加者数は465人

※ 申込者人数は、分科会発表者・都県市代表者・表彰受賞者等の大会関係者を含む数字である。

「ふくしの出張講座」

（１）経過

社会福祉施設（法人）の「地域における公益的な取組」として、施設（法人）の持つ専門性やノウハウを活用し、施設部会（社会福祉施設）が講師可能なメニューを地域の方々へ提示し、出張講座を行う。

→ 令和３年度にパンフレット作成

→ 令和４年度からパンフレット配布

※全国的な動きとして

- ・令和２年 ともに生きる豊かな地域社会の実現に向けた共同宣言
～社協と社会福祉法人のさらなる連携・協働へ～
- ・令和３年 社協と社会福祉法人・福祉施設の連携・協働推進方策
(社会福祉法人全国社会福祉協議会)

（２）令和６年度の依頼状況等

◎ふくしの出張講座

①下小田中小学校

日時：令和６年７月４日（木）９時３０分～１２時

会場：下小田中小学校 体育館

対象：小学校４年生５クラス １５３名

講師：介護老人福祉施設 すみよし（すみよし地域包括支援センター）

地域密着型特別養護老人ホーム せせらぎ

内容：車いす体験

②はるひ野中学校

日時：令和６年９月９日（月）１４時０５分～

会場：はるひ野中学校 多目的ホール

対象：中学校３年生３クラス １１８名

講師：特別養護老人ホーム 金井原苑

内容：１１月に計画している高齢者施設での交流体験に先立ち、高齢者施設の概要・利用者の生活・施設で活躍するボランティア・地域包括支援センターの役割・福祉の多様性等について

③古市場小学校

日時：令和6年9月20日（金）10時00分～11時10分

会場：特別養護老人ホームみんなと暮らす町

対象：小学校4年生2クラス 70名

講師：特別養護老人ホーム みんなと暮らす町

内容：デイサービスで実施している遊びの体験
歩行器・リクライニング車いす等の体験
講義

◎講座以外での協力依頼状況

①中野島中学校

日時：令和6年11月13日（水）・14日（木）

対象：中学校2年生 246名

内容：2日間の職業体験

協力：特別養護老人ホーム 太陽の園

特別養護老人ホーム 生田まほろば

特別養護老人ホーム 生田広場

特別養護老人ホーム 多摩川の里

特別養護老人ホーム 菅の里（菅の里デイサービスセンター）

②野川中学校

日時：令和6年11月14日（木）・15日（金）

対象：中学校2年生（希望者10名）

内容：2日間の職業体験

協力：社会福祉法人 寿楽園

特別養護老人ホーム 富士見プラザ

特別養護老人ホーム プラチナ・ヴィラ野川

急募!

夏休みを迎え
食糧が不足気味です!!

地域生活支援 SOS かわさき事業

食糧支援かわさき

食糧等の寄付についてご協力をお願いします

物価高騰の影響を受け、収入減少や失業など生活の変化による困りごとや、見守りを必要とする世帯が増えています。社会福祉施設や企業、地域の方から食糧の寄付を募り、相談機関を通じて困っている方にお渡しします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ご寄付いただきたい食糧

※原則、消費期限が2カ月以上あるもの

常温保存でき、未開封のもの

例：お米(精米済)、レトルト食品(カレー、ハヤシライス)
おかず缶詰、カップ麺、乾麺、乾物、ふりかけ 等

※食糧以外の生活必需品も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

食糧支援かわさき（市社協ホームページ）もご確認ください



協力いただいた
個人・団体の皆さま

オリジナルステッカーを配布します。
社会貢献活動のPR等にご活用ください。

「# Share Smile かわさき」には、本取組を通じ、支援の輪と笑顔が広がってほしいという願いが込められています



食糧支援かわさきの流れ



食糧受付場所・お問い合わせ

食糧支援かわさき（食かわ）



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 総務部企画調整室

☎ 044-739-8714 (8:30~17:00月~金)

✉ sharesmile@csw-kawasaki.or.jp

個性を活かす ～みんなが笑顔になれる秘訣～

< 講師紹介 >



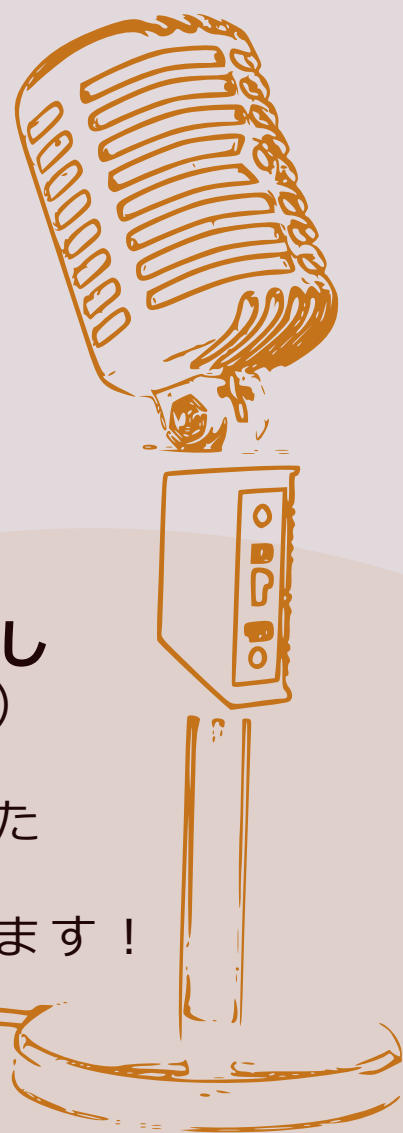
チャンス大城

吉本興業(株)所属、お笑い芸人
いじめられっ子だった学生時代、
東京での地下芸人時代、
とんでもない人生なのに、
なぜか話を聞くと元気になる！



インタレスティングたけし

無滑舌芸人（お笑い芸人）
吃音がありながらも
それを個性として活かした
「インたけクイズ」等、
音楽や映画活動もしています！



9/11

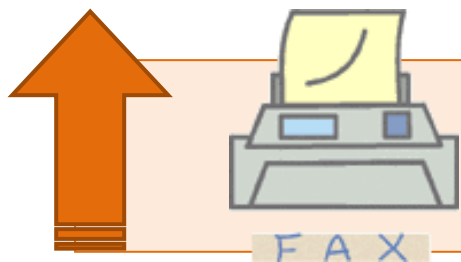
(水)

14～16時

**内容
会場
対象
申込**

**講話・ネタ・質疑応答 等
エポックなかはら7階大会議室
市内会員施設の施設長及び職員 等
チラシ裏面により
9/4(水)までにお申込み**

主催：社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会
共催： 川崎市総合研修センター



川崎市社協 福祉部 施設事業推進課 あて
FAX：044-739-8737

【9/4(水)までにGoogleフォーム、FAXまたはメールによりお申込みください】



令和6年度 第1回施設部会研修会



<https://forms.gle/mV6dkE9h8MBBEhQ76>

施設名	
施設種別	保育・老人・障害・児童・救護・その他()
参加人数	人
質問事項	※講師の方へ事前に質問事項等がございましたら、ご記入ください

※受講をお断りさせていただく場合のみご連絡差し上げます。

ご連絡がない場合には、ご受講いただけますので直接会場にお越しください。

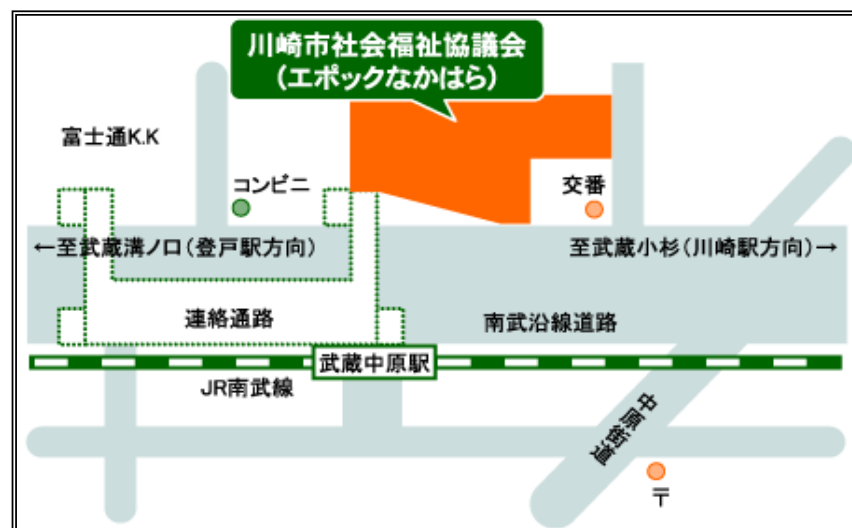
※なるべく多くの施設にご参加いただけるよう、1施設あたりの参加人数を調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

【会場案内図】

川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

《最寄駅》

JR南武線「武蔵中原駅」連絡通路直結



問合せ
・申込先

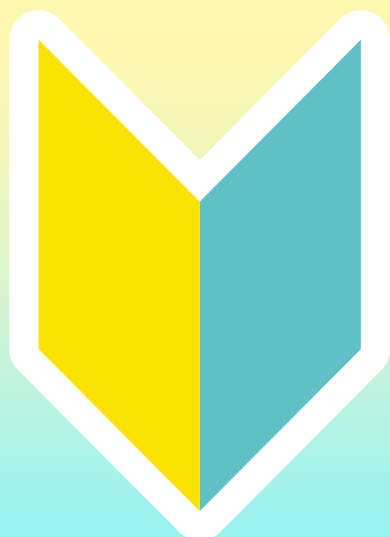


【お申込み・お問合せ先】

川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設事業推進課

電話：044-739-8717 FAX：044-739-8737

メール：shisetsu-dantai@cs-w-kawasaki.or.jp



福祉施設のための

SNS活用

～安心して始めるために～

基礎知識・活用のヒントを学ぼう！

参加費
無料

こんなお悩みにアプローチ！



SNSを始めるために気をつけることは

他施設の活用事例を知りたい

人材確保や魅力発信につなげるには

学生はSNSをどう見てる

9月26日(木)
14:00～16:30

- ・講話
- ・グループワーク
- ・質疑応答 等

☆
講師
☆

- ① NECプロボノ倶楽部
- ② 社会福祉法人聖徳会（埼玉県）
- ③ 学生福祉メディア「wel-bee」

主催

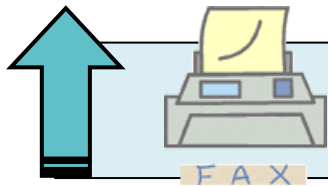
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会

電話：044-739-8717

FAX：044-739-8737

メール：shisetsu-dantai@csww-kawasaki.or.jp

お申込みは
裏面へ⇒



川崎市社協 福祉部 施設事業推進課 あて
FAX : 044-739-8737

【9/19(木)までにGoogleフォーム、FAXまたはメールによりお申込みください】



令和6年度 第2回施設部会研修会

<https://forms.gle/5AEuE728MfHNfMNq5>



施設名	
施設種別	保育・老人・障害・児童・救護・その他()
メールアドレス	
参加人数	人
参加方法	会場(エポックなかはら7階大会議室)・オンライン(zoom)
質問事項	※講師の方へ事前に質問事項等がございましたら、ご記入ください

※受講をお断りさせていただく場合のみご連絡差し上げます。

ご連絡がない場合には、ご受講いただけますので直接会場にお越しください。

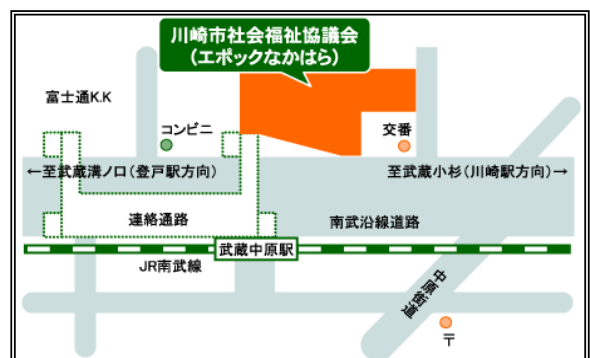
※なるべく多くの施設にご参加いただけるよう、1施設あたりの参加人数を調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

【会場案内図】

川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)

《最寄駅》

JR南武線「武蔵中原駅」連絡通路直結



問合せ
・申込先

【お申込み・お問合せ先】

川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設事業推進課

電話 : 044-739-8717 FAX : 044-739-8737

メール : shisetsu-dantai@cs-w-kawasaki.or.jp